

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

愛知みずほ大学は、建学の精神「科学的思考に基づき健を探究できる人材の育成」を基底としたディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を実現するため、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

1. カリキュラムは、「基礎科目群」として「科学的思考の基礎科目」「健康を知る基礎科目」「健康を創る実践力形成科目」、「専門科目群」として「社会領域」「身体領域」「心理領域」、更に学びの最終目標に据えた「研究科目群」から構成され、授業科目を体系的かつ系統的に配置しています。
また、科学的思考に基づき健を探究できる人材を育成するために、「養護・保健」「健康スポーツ」「心理・カウンセリング」「健康科学」の4つのコースを設けています。

2. 卒業時に身につける能力は、研究領域に関連した主要科目を学びの主軸に据えながら、基礎科目から専門科目へと段階を踏んだ積み上げによって獲得されます。
・「基礎科目群」では、「科学的思考の基礎科目」において、課題発見から解決のための手順を考え、実行し、解決する力を身につけ、「健康を知る基礎科目」において健康に関する「身体」「心」「社会」について基礎知識を修得し、「健康を創る実践力形成科目」において豊かな人間性と健康づくりのための実践的な基本能力を身につけます。
・「専門科目群」は、「身体領域」として「健康・栄養学」「健康とスポーツ」「健康・保健・養護学」、「心理領域」として「心理の研究法」「心理学の理論」「心理学の実践」「心理職のための知識・技能」、「社会領域」として「心身の健康(病気・けがとその予防)」の履修を通して所属するコースの専門知識・技能を修得し、それぞれが目指す目標を達成できるようにします。
・「研究科目群」は、「研究領域」において基礎科目、専門科目で段階的に積み上げてきた知識・技能・態度を総合的に活用し、最終的に選択必修科目である「卒業論文」「卒業制作」により健康な社会の実現のために科学的根拠に基づいた実践力を身につけます。

個々の科目と学位授与の方針に掲げられた各能力との関係を、ディプロマ・ポリシー(DP)チェックシートに明示します。

3. 履修する科目の意義は、科目の目指すところ(知る／理解する／応用・展開する)と授業科目間のつながり(順次性や系統性)を示すナンバリングやカリキュラム・マップにより的確に知り、科目選択や学修に役立てることが出来ます。

4. 学生一人ひとりの思いや志向を学びに反映できるように、コースごとの必修科目を設定しないで科目選択の自由度を確保しています。但し、コースの専門性を担保するために、コースごとに履修モデルを示しています。

5. セメスター制(2学期制)を基本としていますが、学修目標を達成しやすくするために、短期間で集中的に学ぶクォーター制(4学期制)を併用します。

6. 学生がカリキュラムを通して能動的に学ぶために、学期ごとに振り返りを行い、次学期に向けた学修計画を作成する科目を必修で配置し、自ら主体的に学ぶ力を身につけます。また、その過程において学生が着実に学修成果を積み上げることができるようにチューターが一人ひとりを支援します。更に、学修コンシェルジュが、正課外での特別講座によって目標達成を支援します。

7. 4年間の学修成果は、ルーブリックなどの指標により、いつでも経過を確認できます。